

夕方、仕事をしていた手をとめて窓の外を見ると、もう暗くなっています。朝晩、部屋に暖がほしいと思うようになりました。季節の機微が感じられるのは、大人の楽しみです。子どもにも感情豊かに育てて欲しいと願います。子どもの情緒を育てるのは、家族の力が大きいと思います。何気ない会話の中に、実は様々な出来事があって、それに向かう姿があります。大人の毎日は子どものさりげないお手本です。失敗さえもお手本です。短絡的な感情ばかりが目立つ最近の子ども達ですが、小さな喜びや小さな楽しみを大切にできる子どもになってほしいと思います。さらには、困難も越えていくことができる力を！

## 「木の名人はだあれ？」・・・ちびっこ職人大奮闘

### 「かっぱに変身したのはだあれ？」・・・歓声響く

9月、西浜小学校と大石小学校の3年生が木工学習を「西湖野鳥の森公園」で実施しました。たくさんの廃材や木の実や花の種等を材料に、かなづちやのこぎりを使って、思い思いの作品を作りました。設計図が難しすぎて、変更を余儀なくした子、思い通りにできた子と様々でした。慣れない道具に悪戦苦闘をしていました。この日ばかりは先生方も子ども達の助手。



教育特別研究員(小河原徳博先生)や協力員(退職された倉沢正徳校長先生)に手伝っていただきました。「西湖野鳥の森公園」でも子ども達のためにたくさんの材料を用意して待っていてくださいました。子ども達は、町の協力をはじめ、多くの人達に支えられているんだな、と感謝の気持ちを新たにしました。

9月から10月にかけて、「川の学習」も行いました。数年続いている児童向けの事業の1つです。鹿留川の上流・中流・下流の水の流れや地形の変化等を学びます。教科書や写真やパソコンでも十分学習できますが、実体験に勝るものではありません。センターを大きな軸として、効率よく運営しています。川の学習は町内全小学校の5年生を対象に実施しました。川原で楽しそうに観察したり遊んだりする姿に、心が弾みました。

今年は雨にぶつかることが多く、日程調整が大変でした。来年は山ほどのてるてる坊主を用意しなければと思っています。



### 感想で～す！

☆ぼくは、家を作りました。屋根の部分がちょっと難しかったです。初めて使ったのこぎりは、最初指を切らないかこわかったけど、先生達に教えてもらったので慣れました。ありがとうございました。

★川は何度も見たことがあったけれど、こんなに長い時間川にいたのは初めてでした。教室で勉強したことが、川に行くと、確かめられました。プールの水はどこもほとんど同じ温度だけれど、川は場所によってすごい違いがあるなとびっくりしました。大雨や台風のときは大変だと思いました。川の水は冷たかったです。